

令和5年度
調布市武者小路実篤記念館事業計画
(案)

指定管理者
一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

1 方針

武者小路実篤記念館（以下「実篤記念館」という。）は、武者小路実篤（以下「実篤」という。）の業績を顕彰し、広く市民の教養・文化向上に寄与するため、次の事業目標のもと、調布市教育プラン及び調布市社会教育計画に沿って事業を展開します。

（1）武者小路実篤の顕彰

年6回の展示事業、普及活動、実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

（2）実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報発信基地）

実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」として機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺派・新しき村の研究施設」を目指します。

（3）次代を担う子どもへのアプローチと利用の拡大（博学連携事業）

学校教育において活用しやすいメニューや教材の開発と提供など、子どもたちへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と人間愛・郷土愛を育む取組を実施します。

（4）実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、実篤公園を活用した新たな事業展開など、更なる市民サービスの向上を図ります。

（5）館の外へとつながる事業

実篤記念館から外に出て、実篤の活動や魅力を伝えて参ります。地域や大学、近隣市の関係施設との協力事業、展覧会や講座等の開催協力など積極的に取り組みます。

また、独自ツイッターを始めとした情報発信により、認知度を高め、多くの人とつながる事業を展開します。

○ 展示活動

春の特別展では関東大震災から100年を機に、当時の日記である「気まぐれ日記」を中心に実篤にとり禍福の多い年に注目した「武者小路実篤の1923年」を、秋の特別展では実篤の著書や献呈本などを特集した「武者小路実篤の本をめぐる物語」を開催します。また、実篤の幅広い活動を紹介するために、テーマを設けて、所蔵品を中心とした企画展を4回開催します。これら展示活動を通して、実篤の活動や魅力、実篤記念館の収集活動の成果を広く周知し、認知度を高めます。

○ 普及活動

講座・講演会、ボランティア活動などを充実させ、満足度の高い良質な事業を展開して参ります。来場が困難な利用者にも学習の機会を提供するため、配信等を活用する環境の整備に努めます。

また、郷土博物館や公民館をはじめ市内施設との事業協力を深めながら広く情報発信し、実篤記念館の魅力を感じてもらえる機会とします。

小・中学校をはじめとする学校教育との連携については、学校で地域ゆかりの文化遺産である実篤と実篤記念館に親しむ機会となる企画や博学連携事業を推進します。

また、実篤記念館への来館促進を図るための広報活動をさらに充実させます。

○ 資料収集及び保存、並びに調査・研究

書画、原稿、書簡、図書、雑誌、写真及び映像・音声資料などの関連資料を収集するとともに、

良好な状態で保存します。特に貴重な収蔵品については、適切な保存・管理を図るために、資料状態の把握に努めるとともに修復、複製制作を実施します。さらに、「実篤」、「白樺派」、「新しき村」に係る事項についての情報収集発信基地としての役割を担っていくため、調査・研究を行います。

○ 情報提供システム

情報提供システムでは、収蔵品データベース、情報閲覧システム、ホームページ等を活用し、広く実篤や収蔵品情報を提供するほか、システムのリニューアルに向けて検討を行い、更なる情報の充実と利便性向上を図ります。

2 事業概要

No.	事業名	事業内容
1	展示活動	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展：春の特別展「武者小路実篤の1923年」、秋の特別展「武者小路実篤の本をめぐる物語」を開催する。 ・夏休み企画「おしえて！武者小路実篤」をはじめとして、実篤記念館収蔵品による企画展を4回開催する。
2	普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ・武者小路実篤に親しむことができる講演会等を開催する。 ・講座等については、さらに内容の充実を図り、特色ある生涯学習の機会と良質な事業を提供する。 ・講演会・講座等の普及事業は、来場できない利用者に学習の機会を提供するため、配信等の環境整備に努める。 ・ボランティアによる、ガイド、開催事業補助や開架図書整理などを実施する。また、ボランティア養成講座を開催する。 ・学校との連携を図り、博学連携プログラム作りや、出張展示や出張授業等を推進する。教員研修に積極的に協力し、また、授業で活用できる教材を作成し提案する。子ども向け解説シートを各学校図書館へ配布するなど、実篤関連資料や情報の提供を行う。 ・ICT教育で活用できる情報・教材の整備・作成を推進する。 ・親子参加型事業、夏休み子ども向け事業等キッズプログラムを充実させる。 ・郷土博物館や市内施設及び関連美術館・文学館等との事業連携を深め、実篤と実篤記念館の認知度を高める。 ・特別展パンフレットを刊行する。 ・広報資料の作成や配布、ホームページ等の運用で広く実篤や実篤記念館事業を広報し、実篤の魅力や事業活動を周知し、認知度を高める。 ・友の会事業及びぐるっとパス事業を実施し、広報・普及に努める。 ・毎年計画的に制作している映像作品は、令和5年度は実篤公園に親しみ学ぶことができるよう、また、情報提供システムのリニューアルで活用するためにVR（仮想現実）映像を制作し、ホームページで公開する。

3	閲覧事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵図書・資料の閲覧事業を通して、実篤作品に親しむ機会を増やし、利用者の調査・研究活動をサポートする。 ・ 情報提供システムを活用し、レファレンス業務を充実させて、「実篤」、「白樺派」、「新しき村」に関する情報収集発信基地としての役割を担う。
4	資料収集・保存 調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品・資料の収集に努めるとともに、収集後は整理を行い、収蔵品を良好な状態で保存する。 ・ 収蔵品の修復や複製による保存事業を計画的に実施する。 ・ 作品・資料の保存環境の把握および整備に努める。 ・ 収蔵品データベースの情報をさらに充実させる。 ・ 関係機関との連携、展示・調査研究に係る資料提供の要請等について対応する。 ・ 所蔵品の点検、未整理資料の整理作業に積極的に取り組む。 ・ 特別展に関連する資料をはじめ、個人所蔵の資料など、実篤、白樺派、新しき村に係る資料の調査・研究を実施する。 ・ 旧実篤邸内所蔵品の虫害対策のために消毒作業を実施する。
5	情報提供システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システムの更なる情報の充実を図り、リニューアル完了まで安定的な運用に努める。 ・ 令和5年度は情報提供システム（収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システム、ホームページ）について、技術の進歩と情報利用環境及びニーズの変化を踏まえてリニューアルの検討に取り組む。 ・ ホームページ、独自ツイッターの運用を積極的に展開し、情報の発信と認知度向上に努める。 ・ ICT教育で活用できるよう、学習サポートページの充実を推進する。
6	記念館の維持 管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入場者の安全で快適な利用に供するため、保守点検による設備等の維持および良好な運用と美観を保持することに努める。 ・ 駅等からの誘導案内サイン等を、利用者に分かりやすく改修する。 ・ 収蔵品の状態と保存環境の維持に努めるとともに、後世に貴重な財産を残すために、隔年で行っている燻蒸作業を実施する。 ・ 作品・資料の保存環境を確保するため、展示室、地下収蔵庫の温湿度をモニターし、空調の調整に努める。 ・ 浸水対策として地下ピット等の止水修繕を実施するほか、止水板改修（3年計画の2年目）、排水ポンプの交換、消防設備の改修等を実施する。 ・ 館内の照明設備改修工事に取り組む。
7	公園日常管理・ 旧実篤邸保存	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園利用者にとって快適な施設とするため、日常的な維持管理を行う。 ・ 登録有形文化財に登録された旧実篤邸を維持管理し、土・日・祝日は公開する。
8	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校や地区協議会等と協力して地域連携事業を実施する。 ・ 市内中学生の職場体験の受入れを行う。 ・ 博物館学芸員実習の受入れを行う。

3 展示日程 (予定)

No.	タイトル	会 期
1	春の特別展「武者小路実篤の1923年」	令和5年4月29日(土・祝)～6月11日(日)
	館内整備のため臨時休館	6月13日(火)～6月30日(金)
2	夏休み企画「おしえて!武者小路実篤」	7月8日(土)～8月27日(日)
3	秋季展「新しき村 創設105年」-理想社会 実践の歩み-	9月2日(土)～10月9日(月・祝)
4	秋の特別展「武者小路実篤の本をめぐる物語」	10月14日(土)～11月26日(日)
	館内設備改修工事のため臨時休館	11月28日(火)～令和6年1月19日(金)
5	企画展「書が映す武者小路実篤」	1月20日(土)～2月25日(日)
6	春季展「美術雑感」-実篤に影響を与えた もの-	3月2日(土)～4月14日(日)